

令和7年度 三重県認知症介護実践者研修

講義・演習：1820分 職場実習：前半2週間・後半4週間 報告会：180分)

時間	科目	目的
----	----	----

令和7年8月21日（木）

ハイブリッド研修：【集合】三重県総合文化センター 男女共同参画センター セミナー室A ・ 【オンライン】Zoom

1 日 目	9:20~9:30	10	受付	
	9:30~9:40	10	オリエンテーション	
	9:40~11:10	90	認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援 (認知症ケアの理念) (認知症ケアの倫理) (認知症の人の意思決定支援)	認知症の人が望む生活を実現するため、認知症ケアの歴史的変遷や認知症ケアの理念、認知症の原因疾患、中核症状、行動・心理症状(BPSD)の発症要因、認知症ケアの倫理や原則、認知症の人の意思決定支援のあり方について理解を深める。
	11:10~11:15		休憩	
	11:15~12:45	90	認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援 (認知症に関する基本的知識)	
	12:45~13:45	60	昼休憩	
	13:45~16:30	165	生活支援のためのケアの演習Ⅰ (生活支援のためのケア) (認知症の生活障害) (認知症の人の生活環境づくり)	食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとしての生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。

令和7年8月27日（水）

ハイブリッド研修：【集合】三重県総合文化センター 男女共同参画センター セミナー室A ・ 【オンライン】Zoom

2 日 目	9:20~9:30	10	受付	
	9:30~11:00	90	生活支援のためのケアの演習Ⅰ (中核症状の理解に基づくコミュニケーション)	食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとしての生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。
	11:00~11:05	5	休憩	
	11:05~12:05	60	生活支援のためのケアの演習Ⅰ (生活場面ごとの生活障害の理解とケア)	食事・入浴・排泄等の基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解した上で、認知症の人の有する能力に応じたケアとしての生活環境づくりやコミュニケーションを理解する。
	12:05~13:05	60	昼休憩	
	13:05~13:50	45	生活支援のためのケアの演習Ⅰ (生活場面ごとの生活障害の理解とケア)	認知症の人の心理的安定やQOL(生活・人生の質)向上を目指す活動に関する基本的知識、展開例、評価の観点と方法について理解を深める。
	13:50~13:55	5	休憩	
	13:55~14:55	60	QOLを高める活動と評価の観点	認知症の人の心理的安定やQOL(生活・人生の質)向上を目指す活動に関する基本的知識、展開例、評価の観点と方法について理解を深める。
	14:55~15:00	5	休憩	
	15:00~16:30	90	家族介護者の理解と支援方法	在宅で介護する家族支援を実践する上で、その家族の置かれている状況や心理、介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。

令和7年9月5日（金）

ハイブリッド研修：【集合】三重県総合文化センター男女共同参画センター セミナー室A 【オンライン】Zoom

3 日 目	9:45~10:00	15	受付	
	10:00~12:30	150	権利擁護の視点に基づく支援	権利擁護の観点から、認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状のケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意識を深める。
	12:30~13:30	60	昼休憩	
	13:30~15:30	120	地域資源の理解とケアへの活用	関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、既存の地域資源の活用や認知症の人が地域で自分らしく暮らし続けるための地域資源の開発の提案ができる。
	15:30~15:40	10	休憩	
	15:40~16:00	20	自施設実習の説明及び注意点	

令和7年9月6日（土）～令和7年9月19日（金）

前期職場実習（2週間）	自施設・自事業所で 4日目の「学習成果の実践展開と共有」の 課題に取り組む	研修で得た知識を活かし、認知症の人と関わることで地震のケアの課題を見つけることができる。
-------------	---	--

令和7年度 三重県認知症介護実践者研修

講義・演習：1820分 職場実習：前半2週間・後半4週間 報告会：180分)

	時間	科目	目的
令和7年9月24日（水）	三重県総合文化センター 男女共同参画センター	セミナー室C	
4 日 目	9:45～10:00	15 受付	
	10:00～11:00	60 学習成果の実践展開と共有	認知症介護実践者研修におけるこれまでの学習成果を踏まえ、自施設・事業所での自らの認知症ケアを実践することにより、研修で得た知識を実践において展開する際に生じる気づきや疑問・課題を明らかにする。それらの自分自身の認知症ケア実践の課題や取り組みの方向性を検討し、他の受講者と共有することにより、知識の活用に関する幅広い視点を得る。
	11:00～11:10	10 休憩	
	11:10～12:00	50 生活支援のためのケアの演習2（行動・心理症状）	認知症の行動・心理症状（BPSD）が生じている認知症の人に対して、行動の背景を理解した上で生活の質が高められるようチームで支援できる。
	12:00～13:00	60 昼休憩	
	13:00～16:10	190 生活支援のためのケアの演習2（行動・心理症状）	
令和7年9月30日（火）	三重県総合文化センター 男女共同参画センター	セミナー室C	
5 日 目	9:45～10:00	15 受付	
	10:00～12:00	120 アセスメントとケアの実践の基本	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状のアセスメントを行い、具体的なニーズを導くことができるようアセスメントの基本的視点を理解する。アセスメントを踏まえた目標の設定と、目標を実現するためのケアの実践計画の作成・立案・評価ができる。
	12:00～13:00	60 昼休憩	
	13:00～16:00	180 アセスメントとケアの実践の基本	
令和7年10月3日（金）	三重県総合文化センター 男女共同参画センター	セミナー室C	
6 日 目	9:45～10:00	15 受付	
	10:00～12:00	120 職場実習の課題設定	認知症の人が望む生活の実現に向けて、適切にアセスメントを行い、課題と目標を明確にした上で、ケアの実践に関する計画を作成することができる。
	12:00～13:00	60 昼休憩	
	13:00～15:00	120 職場実習の課題設定	
令和7年10月4日（土）～令和7年10月31日（金）	後期職場実習（4週間）	職場実習	研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができる。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケア実践計画及びケアの実践を展開できる。
令和7年11月3日（月）～11月7日（金）	内1日	確認テスト (googleフォームを利用)	講義・演習終了後一定期間をおいて、各単元から一部抜粋し確認テストを行う事で、再確認する。
令和7年11月11日（火）	三重県総合文化センター 男女共同参画センター	セミナー室C	
7 日 目	9:20～9:30	10 受付	
	9:30～12:30	180 職場実習評価	アセスメントやケア実践計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価、分析し職場及び自己の認知症ケアの今後の課題を明確にすることができます。
令和7年12月15日（月）～12月19日（金）	期間中に指定の書類を記入してFAXで送信	一ヶ月後の自己評価表及び振り返りシート	研修修了一ヶ月後の自己を振り返ることで、研修で学んだ内容を再確認しながら、日々の認知症ケア内でどの程度実践できているかや、学んだことにより自身にどのような成果が出ているかを把握することができる。

※ 6日目・7日目は、受講生の人数により終了時間が変更になる場合がございます。